

夢育て・たちかわ子ども 21 プラン推進会議 議事要旨

会議名	第 4 期夢育て・たちかわ子ども 21 プラン推進会議（第 7 回）
日時	令和 4 年 10 月 26 日（木）18 時 30 分～19 時 48 分
出席	山中ゆう子、米原立将、安部芳絵、井村良英、段城孝彦、小畑くるみ、千頭和正巳、田中光晴、平野静香、小松佳世子、坂下香澄、佐藤米子、鈴木正明、伊藤梓、葛野智哉、大河原鳳臥、松村咲 [事務局] 矢ノロ子ども家庭部長、五箇野子育て推進課長、平川、高野 守屋子ども家庭支援センター長、竹内子ども育成課長
欠席	畔田世紀子、黒田淑美、田口美幸、園田智恵、栗原一雄、伊東祐也、筒井夢人、松本零、石田千紘
配布資料	グループワークの進め方 提言書の構成（案）
会議場所	立川市役所 101 会議室

1. 提言書に向けたグループワークについて

- (1) 会長から、グループワークに先立って第 1 次プランの策定委員長だった汐見稔幸先生から、次のプランのキーワードは「食と縁」との見解を紹介。食は食育、給食、配食、食堂などを意味し、縁はゆるやかなつながりから課題を解決していく仕組みを意味している。
- (2) グループワークを通じて検討したテーマについて、各グループの項目に対して委員による投票を行い、結果を踏まえて提言したい項目をグループ内で決める。
- (3) グループワークでの意見の共有
 - ① 子どもの居場所
 - 拡充型放課後子ども教室では地域とのつながりの確保を。その他、プレーパークの実施、居場所としてのデイライト、トワイライトの取り組み、若者の意見を集める場づくりを提言したい。
 - 条例制定とそれに基づいた予算づけに関しては、別建てで提言したい。
 - ② 子どもの健やかな育ち
 - 子どもからの要望が多かった SNS やホームページで気軽に相談できる仕組み、スクールソーシャルワーカーの拡充、ヤングケアラーの啓発、乳幼児健診における専門医の配置、大人と子どもが関われる場づくり、子どもや若者に使いやすい図書館について提言したい。
 - ③ 子どもと子どもを育てる保護者への支援
 - ひとり親等どんな家庭でも支援が受けられて、障害を当たり前のように受け入れられる環境づくりについて提言したい。
 - ④ 子どもを育てやすい環境づくり、地域づくり
 - お互いをわかり合えるなじみを作ること、コミュニケーションのハブになる人がどこにでもいる状態を作ることの 2 点を提言したい。
- (4) 提言書を起草する委員を選出し、事務局から提言書（案）のスケジュール等を示す。11/15 までに 1 回目の原稿を提出し、その後ファシリテーターとの調整や起草委員による修正を

行い、次回推進会議までに提言書（案）を提示することとなった。

2. 委員からの報告

- ・ 10月23日に「たま・みら子どもまつり」を実施。ものづくりやたちかわ創造舎による写真撮影、防災体験などのプログラム。事前申込制で子ども60名参加。

3. その他

- ・ 井村委員より、児童館が地域とつながりあい、支え合う基点となりえないかとの質問。子ども育成課長より国のガイドラインにそうした基点の役割を担うことが求められていることを紹介。今後、市としてはブロック化により対応していこうという見解。
- ・ 次回12/14（水）開催予定。開催通知は追って送付。